

千葉県市川健康福祉センター発 いちうら感染症情報

「2024 - 2月②」 定期号

2024年2月22日配信

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

- ・医療機関向け情報には(医)を、一般施設向け情報には(一)をつけています。
- ・2024年第6週：2月5日～2月11日、第7週：2月12日～2月18日

ご覧いただく際に参考にしていただければ幸いです。

原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

※いちうら感染症情報に関するアンケートにご協力ください(〆切：2月29日)

【回答URL】(所要時間：3分程度) ※お手持ちのスマホからご回答いただけます。

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=28333



1



全数報告感染症情報



※市川保健所管内の直近5週分の感染症発生動向状況は、メールの添付資料(「2024.3週～7週」.pdf)をご確認ください。

●管内の状況(報告のあった疾患のみ掲載しています)

2024年第6週・第7週

二類感染症	2週分	累計(年)
結核	2	15
四類感染症	2週分	累計(年)
E型肝炎	1	1

五類感染症	2週分	累計(年)
梅毒	1	7
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1

2



発生動向トピックス

●県内の医療機関より日本脳炎の届出がありました。

2024年第5週に県内医療機関より日本脳炎の届出が1例ありました。患者は80代、発症時期は2023年10月、ワクチン接種歴は有りませんでした。2014年以降の届出は、2015年に1例(8月発症)と2022年に1例(9月発症)の届出がありました。

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスに感染した豚の血液を吸った蚊を媒介して感染するウイルス感染症です。感染した場合は、およそ1000人に1人が発症し、発症すると20～40%は死亡すると言われています。かかっても多くの人は症状が出ません。数は少ないですが、脳炎が起ると痙攣や意識障害が起こり、障害が残るか死亡する確率が高まります。小児では、腹痛・下痢を伴うことも多いです。

感染対策は、ウイルスを持つ蚊の対策と予防接種です。現在、日本脳炎は小児の定期予防接種となっており、生後6か月から90か月に至るまでの第1期と9歳以上13歳未満の者が第2期の対象となっています。

【引用・参考】

国立感染症研：日本脳炎とは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/449-je-intro.html>

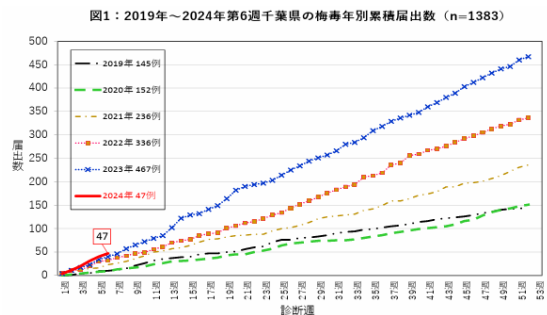
厚労省：日本脳炎 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou20/japanese_encephalitis.html

厚労省：日本脳炎ワクチン接種に関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/d1/nouen_qa.pdf

●**県内の梅毒の発生届出が増加しています。**

2024年第6週に県内の医療機関から梅毒の届出が7例あり、2024年累計届出数は47例となりました。性別では、男性39例(83.0%)・女性8例(17.0%)でした。第6週時点において、過去最多の届出数であった昨年第6週の累計40例を上回っています。



梅毒は、梅毒トレポネーマによって引き起こされる細菌感染症です。感染経路は、感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為等によるものです。

感染対策は、感染者との性行為や感染リスクの高い行為を避けることが基本です。性行為の時にはコンドームを適切に使用することが感染リスクの低減につながります。

また、保健所では匿名でHIV抗体等の検査を実施しております。直近の検査日時については、本誌『お知らせ』をご覧ください。

【引用・参考】

国立感染症研：梅毒とは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

厚労省：梅毒に関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html

●**県内の医療機関で結核の集団発生があり、2月13日に報道発表されました。**

令和5年11月に、県内医療機関に入院している者の結核患者の発生届がありました。保健所が調査したところ、入院している医療機関で他6名の発症者と8名の感染者が確認されました。

結核は、千葉県で年間約500人もの新たな患者が発生しており、いまなお、十分注意すべき感染症です。結核の院内感染は、診断の遅れにより発生、拡大することが少なくなく、患者の早期発見と早期治療が重要となります。

また、発病後の初期症状は、風邪の症状によく似ています。2週間以上咳が続く場合は必ず医療機関を受診しましょう。また、市町村や職場での健康診断は、定期的に受診し、早期発見に努めましょう。詳細の内容につきましては、下記ホームページをご覧ください。

千葉県：結核の集団発生について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kekkaku/syuudan20240213.html>

【引用・参考】

東京都健康安全研究センター：医療機関における結核対策の手引

<https://www.tmph.metro.tokyo.lg.jp/files/archive/issue/leaflet/kansensyo/iryokikantebikiR3.pdf>

●管内の感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）の集団発生の報告が増加しています。

2024年第1週～第7週までに管内の社会福祉施設3例、小学校3例、保育施設8例計14例の報告がありました。

感染性胃腸炎は、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称で、原因となるウイルスには「ノロウイルス」「サポウイルス」「アデノウイルス」「ロタウイルス」などがあります。毎年秋から冬にかけて流行するため、今後の発生動向に注意が必要です。

症状は、主に嘔気・嘔吐・下痢・腹痛等の消化器症状です。感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

感染対策は、**石鹸と流水による手洗いの励行、嘔吐物・糞便等の迅速かつ適切な処理が重要**です。特に、**吐物や糞便の付着箇所は、適切な範囲(嘔吐では、嘔吐物の中心部より半径2m)への0.1%の次亜塩素酸ナトリウムによる消毒**が必要です。

施設等におかれましては、同様の症状を呈する方が複数名発生した場合には、市川保健所にご相談ください。

【引用・参考】

千葉県：【ノロウイルス】感染症予防のための情報提供について（令和6年1月19日発表）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2023/norosyudan240119.html>

千葉県：吐物の処理 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/hokenshi/saigai/documents/11tobutu.pdf>



●管内の高齢者福祉施設で感染性胃腸炎の集団発生があり、2月22日に報道発表されました。

2月8日から16日に保健所が報告を受けるまでに、利用者22名・職員13名が嘔吐・下痢等の症状を呈していることが判明し、同日現地調査及び衛生指導を実施しました。その後、2月19日に利用者7名・職員9名の計17名の便について検査をしたところ、全員からノロウイルスが検出されました。2月21日までに利用者41名・職員20名の計61名が発症し、うち2名は入院しています。

詳細の内容については、下記のホームページをご覧ください。

千葉県：感染性胃腸炎の集団発生について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2023/documents/240222press.pdf>

- 定点報告数(下図)は2024年第6週、第7週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめたものです。

＜市川保健所管内インフルエンザ発生状況＞

(人)

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	58	327	1	0	8

※型非鑑別キット

(医療機関からの型報告なく不明な191例を除く)

- 定点医療機関による感染者数の報告は増加傾向です。

第6週の県全体の定点当たり報告数は、27.21(人)でした(図1)。報告数の多かった地域は、保健所管内別で、君津43.62(人)、松戸43.19(人)、船橋市41.53(人)となりました。管内の報告数は、18.50(人)となりました(図2)。

図1

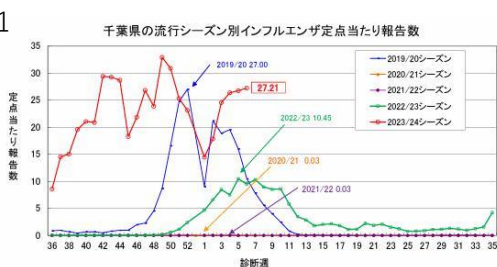
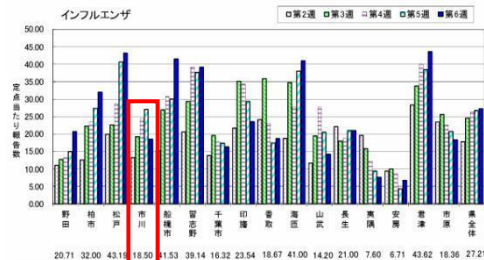


図2



2024年第6週に県内で報告のあった4879例のうち、A型1110例(22.8%)、B型3471例(71.1%)となっており、2024年第5週以降2週連続でB型が多くなっています。

インフルエンザの一般的な感染対策には、以下が挙げられます。

- ①手洗い、手指衛生
- ②マスクの着用を含む咳エチケット（特に、通院時や高齢者施設を訪問するとき）
- ③室内の換気
- ④適度な湿度の保持

＜以下、必要に応じて＞

- ⑤人混みや繁華街へ外出を控える
- ⑥ワクチン接種

※施設内では流行時に健康観察の強化、手洗いの徹底、咳エチケットにご留意ください。



● 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です。

第6週の県全体の定点当たり報告数は、16.51(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、保健所管内別で海匝 27.50(人)、君津 26.85(人)、柏市 23.23(人)となりました。

市川管内の報告数も、前週 13.00(人)より減少して 9.50(人)となっています(図2)。

新型コロナウイルス感染症の一般的な感染対策は、インフルエンザを予防する方法と同様になります。

【参考・引用】

千葉県:新型コロナウイルス感染者の発生状況

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202406covid19.pdf>

首相官邸:感染症対策へのご協力をお願いします(手洗い・咳エチケット) <https://corona.go.jp/prevention/pdf/kansen.pdf>

厚生省:新型コロナウイルス感染症 一般向け Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

図1

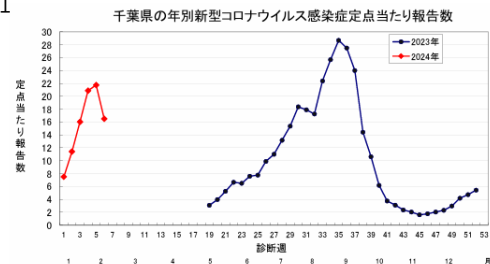
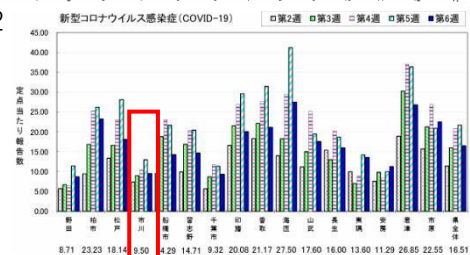


図2



いちうら感染症情報に関するアンケートにご協力ください。(〆切: 2月29日)

下記のURL又は二次元コードより、アンケートにご回答ください。回答時間はおよそ3分です。お手持ちのスマートフォンからご回答いただけます。

【回答URL】

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=28333

【二次元コード】



回答にご協力をお願いします。



🎗️ HIV抗体検査実施予定日 🎗️

検査実施日: 3月7日 13:30~

(予約開始日は、2月26日 9時~)

検査内容: HIV、梅毒、クラミジア、淋菌、B型肝炎、C型肝炎

問い合わせ・予約方法: 市川保健所疾病対策課 電話にて要予約

*検査実施に関する詳細、他日程につきましては、ホームページをご覧ください。



市川保健所: HIV 抗体検査・肝炎ウイルス検査のご案内

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kenkousoudan/hiv.html>

千葉県では、休日街頭 HIV 検査も実施しております。検査実施に関する詳細、他日程につきましては下記のホームページをご覧ください。

千葉県: 休日街頭 HIV 検査 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html>

最後に

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了解ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

【配信元】

千葉県市川健康福祉センター（市川保健所）

いちうら感染症情報

ichiurainf@pref.chiba.lg.jp



市川保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 解除基準値
 マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみCOVID-19、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

